

可視静脈炎スコア (Visual Infusion Phlebitis Score: VIP スコア)

方針

全てのカテーテル使用患者に対して、少なくとも1日に1回は静脈炎になっていないか観察する。右記のスコア、および実施された対応は記録する。下記の場合も、カテーテル刺入部の観察が必要である。

- ボーラス投与を実施する
- 輸液速度を確認する、または変更する
- 輸液バックを変更する

静脈炎の発生原因はさまざまである。下記“グッドプラクティスの要点”は、静脈炎発生を減らす一助となるかもしれない。

- 1 少なくとも毎日、刺入部の観察を行う
- 2 静脈カテーテル用のドレッシング材で刺入部を保護する
- 3 浮いたり汚染されたドレッシング材は交換する
- 4 カテーテルは可能な限り、関節から離して挿入する
- 5 無菌操作を遵守する
- 6 自施設におけるカテーテル交換の適応を考える
- 7 継続的なケアを計画して記録する
- 8 患者に適した最も細いカテーテルを使用する
- 9 静脈炎の初期徴候が見られたらカテーテルを交換する (VIPスコア ステージ2)

刺入部は正常である		0	>	静脈炎の徴候なし	カテーテルの観察
下記のうち1つ当てはまる ・ 刺入部周囲の軽い痛み ・ 軽い発赤		1	>	初期徴候の可能性	カテーテルの観察
下記のうち2つ当てはまる ・ 刺入部の痛み ・ 紅斑 ・ 腫脹		2	>	静脈炎初期	カテーテルの差し替え
下記の徴候全てが当てはまる ・ カテーテルに沿った痛み ・ 紅斑 ・ 硬結		3	>	静脈炎中期	カテーテルの差し替え、 治療の検討
下記の徴候全てが当てはまり 広範囲である ・ カテーテルに沿った痛み ・ 紅斑 ・ 硬結 ・ 静脈を索状に触れる		4	>	静脈炎進行期または 血栓性静脈炎初期	カテーテルの差し替え、 治療の検討
下記の徴候全てが当てはまり 広範囲である ・ カテーテルに沿った痛み ・ 紅斑 ・ 硬結 ・ 静脈を索状に触れる ・ 発熱		5	>	血栓性静脈炎進行期	治療の開始